**南ア治安情報（西ケープ州以外）**

**【2023年４月～６月】**

**在南アフリカ共和国日本大使館**

**南アでは、犯罪者が銃やナイフを持っていることがあるため**

**万が一被害に遭いそうになった場合**

**抵抗はせず、命を最優先に守る行動をお願いします**

**以下、頻度の高い犯罪類型とその対策、最近の事案・傾向です。**

**１　武装強盗（カージャック、追尾強盗）**

**武装強盗のなかでも、カージャックが増加傾向にあります。特にハウテン州は全体の約半分（南ア犯罪統計2023年第１四半期：４月～６月）の被害を占めています。**

**当地セキュリティー専門家によりますと、各地カージャックのホットスポットは無数にあるものの、分類として**

**１**　**Drive　way（一般車道から各家の車庫／敷地に通じる施設道）**

**２　信号**

**３　ショッピングセンター**

**４　ガソリンスタンド**

**５　一時停止標識**

**６　学校**

**の順に発生が多いとのことです。同専門家の講演等を参考に「カージャック発生多発場所と対策」をとりまとめましたので（次の頁）、安全対策としてお役立てください。**

**空港からの追尾強盗**

**当地において、空港からの追尾強盗はORタンボ国際空港からが圧倒的に多く、被害に遭われた方のほとんどがターミナルA（国際線）利用者と言われています。**

**【対策例】**

**国際線利用の場合、一旦、ターミナルB（国内線）まで移動し、ターミナルBの出口を利用（迎えもターミナルB）する。**

**追尾強盗とは**

空港、銀行、買い物先などから出発する際に狙いを定め、被害者の車が自宅等に到着するまで車で追尾し、自宅前等で車両用ゲートが開くのを待つ数秒間の停車時に襲撃。被害者の後方を車で塞ぎ、身動きできない状態に陥らせ、銃等で脅してスマートフォン等の貴重品を強奪、車そのものを強奪（カージャック）する手口。その後拉致（ATMに連れて行かれ現金の出金を強要される、金品を奪われる、暴行を受ける、見知らぬ土地に放置される）等に発展する場合がある。犯人は銃等で武装している。

**カージャック発生多発場所と対策**

❶**Drive　way**：自宅、ゲストハウス等ゲートが開くのを待っている間に襲撃

→帰宅５分前からは最大に警戒（特に追尾されていないか）。

　→自宅ゲートをリモコンキー等にて操作する場合、ゲート（道路）に並行に停車して開放操作（退路を確保、追尾の可能性の場合はそのまま前進）、ゲートが開放されれば直ちに敷地内に進入、後続が入れない位置で停車して直ちにゲートを閉鎖（自動閉鎖機能は利用しない）。

　→生体認証によりゲートに並行に停車して操作できない場合、ゲート直近で並行に停車し、後方の様子を確認する。同様に停車する車があれば追尾の可能性。

　→追尾の可能性がある場合は、自宅に帰らず一旦通過。冷静にいつも通りの運転でガソリンスタンド、商業施設等安全が確保できる場所まで一旦避難。警察等に通報し応援を求める。

❷**信号**：信号待中に襲撃（信号待ち中は、スマッシュアンドグラブ等他の犯罪も発生しやすい）

　→停車中は周囲に特に警戒。スマホを触る等注意散漫にならない。

　→賊は後方から突然現れる事が多いため、バックミラー、サイドミラーなどで後方を特に警戒。

　→前の車と車間距離を空けて停車。

　→襲撃ポイントに至るまでに、既に仲間が標的を選定している可能性大。運転中も警戒を怠らない。

❸**ショッピングセンター**：車からの乗降時に襲撃。駐車場入り口のゲート（駐車券発券時等）で停車した際、後続車が追突し（事故を装う）確認しに降りてきたところを襲撃

　→車の乗降時は特に周辺に不審者（車）がいないか警戒する。

　→乗車後はただちにドアロックを手動でかける。乗車後すぐは自動でロックがかからない。外からドアをあけ、後部座席に乗り込み襲撃する等を防止。

　→駐車場入り口等で停止時に後続に追突された場合（特に軽い追突）は、降車せず、ドアをロック、窓を閉め、ミラー等で様子を確認し、本当の事故か判断。

❹**ガソリンスタンド**：給油待ち等に襲撃

　→給油を依頼すれば、車を施錠しガソリンスタンドのコンビニへ移動して待機、給油後の支払いをコンビニのカウンターで行う事で車内待機時間を減らす。

　→できるだけ子供を連れている時に給油しない（子供が巻き込まれるのを回避）。

❺**一時停止標識**：標識で一時停止した際、前の車（犯人）と後続の車（犯人）に挟まれ身動きできない間に襲撃。一時停止した際、後続車が追突し（事故を装う）確認にしに降りてきたところを襲撃

　→前の車との車間距離を空けて停車。

　→追突された場合（特に軽い追突）は、降車せず、ドアをロック、窓を閉め、ミラー等で様子を確認し、本当の事故か判断。

❻**学校**：子供を迎えに行き、駐車場等で待機している際に襲撃

　→車内でスマホを触る等して待機せず、車外に出て（車はロック）待機。

**２　自動車盗**

**自動車盗の被害が増加傾向にあります。特に標的となっているのは、トヨタ社ハイラックス、ランドクルーザー、プラド、フォーチュナー、フォード社レンジローバー等のBakkie（ピックアップトラック）タイプ、ハイパワーの頑強な車です。その一方で、コンパクトカー、ファミリーカーの被害がないわけではありません。目的は、現金輸送強盗等その他の犯罪の犯行時に利用する、車そのものを転売、車の部品取り等賊の目的は様々です。どんなタイプの車でも標的になっている事を念頭に防犯対策をお願いします。**

**【対策例】**

1. **駐車場所の選定**

**路上駐車中に被害に遭うケースが多いので、警備員が配備された駐車場、アクセスコントロールがされた駐車場などを選定してください。**

1. **リレーアタック対策（スマートキーの車）**

**・電波遮断ケースに入れる**

**・電波をオフや節電モードにする**

**→ディーラーによる設定、ご自身でできる場合等車種によって異なる場合がありますので、ディーラーにご相談されることをおすすめします**

リレーアタックの手法概要

・犯人グループの１人がスマートキーを持った人に近づく

・スマートキーの電波を特殊な装置で受信

・受信した電波を仲間に送信

・電波を受信した装置を持って車に近づき、車のロック解除、エンジン始動

※キーの所有者に近づいて電波を拾い、車の横の仲間までリレーする様に送信。正規のキーが近くにあるよう車に誤信させロック解除やエンジン始動を行う

※被害者は、車から離れているので犯行に気がつかない（ことがほとんど）

**※その他、特殊な装置を用いてドアや窓を破壊することなくロックを解錠、エンジンを始動する手口も横行しております。車種に応じて対策が可能な場合がありますので、ディーラーに相談されることをおすすめします。**

**※特に、電話で会話しながら近寄ってくる人物、電話を手にして周辺をうろうろしている人物には要注意です（他の犯罪、例えばスマホのひったくり等でも同様）。相手が電話をかけている（ふり）というだけで、驚くほどこちらの警戒心が薄まります。また、共犯者と情報交換しながら犯行のタイミングを指示している可能性があります。この様な人物が近寄ってきた場合、離れてください。**